

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：議会費 項：議会費 目：議会費

事業名【新】議会図書室管理システム整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

議会事務局総務課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内 9113)

E-mail：c12159@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 440 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	440	0	0	0	0	0	0	0	440
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・議会図書室は、地方自治法に基づき、議員の調査研究に資するために設置され、執行部職員も多く利用している。司書は、議員及び執行部職員から、調査研究に必要な情報・資料等を求められた際に、文献、資料、記事等の検索・提供、統計データの分析等といったレファレンスサービスを行っている。
- ・平成29年度に現行システムを導入し、約4万冊の図書資料の蔵書管理、書誌データを取り込んだ目録作成、蔵書検索等、様々な業務に活用している。
- ・議員等からのレファレンス依頼は年間1,000件程度あり、迅速に幅広い資料提供を可能にしている。
- ・これまで重大な不具合なく稼働しているが、導入以降ソフトウェアのバージョンアップがされておらず、システムのOSはWindows Server 2012のためマイクロソフトのサポート期限が2023/10と近づいている。
- ・図書管理システムが連動している、県のシステム共通基盤の更新が令和5年度に予定されており、現行システムも移行を予定している。新システム共通基盤に移行した場合はWindows OSのバージョンアップが必要となる。
- ・サーバーのOSに合わせて現行システムのバージョンアップをしない場合、OSに対応していないソフトウェアを使用する形となり、想定しえない不具合が起る可能性があり、業者でも対応不可と指摘を受けている。その結果、これまで構築してきた蔵書データベースが失われ、図書館サービスが大幅に低下する。

(2) 事業内容

- ・現行の図書管理システムのバージョンアップ、旧サーバーからのデータ移行と更新作業を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10/10（岐阜県議会に係る経費であるため）

(4) 類似事業の有無

- ・無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	440	システムバージョンアップ、システム構築、既存データ移行作業、1年分の保守費用
合計	440	

決定額の考え方

他の事業で実施することが可能なため、計上を見送ります

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県庁舎再整備基本構想
新庁舎に求められる性能（議会機能）—図書室—議員の効率的な調査研究に配慮するとともに、来庁者等も利用できる環境を整備し、レファレンスサービスを提供

(2) 国・他県の状況

- ・東海北陸7県中、6県が蔵書管理システムを導入している。
（6県のうち、三重と福井を除く4県が市販のシステム）

(3) 後年度の財政負担

- ・保守費用55千円/年。
・令和10年度に同額程度の更新が必要となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・議会図書室における、議員活動ならびに行政支援であり、県が主体となって取り組む必要のある事業である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

図書室の蔵書データベースを構築して書誌による資料検索ができる環境を整備することにより、議員等の依頼に対して迅速かつ的確なレファレンスサービスを提供し調査研究の充実に資する。

蔵書のバーコード管理機能により、スムーズな貸出・返却処理及び蔵書管理を可能とし職員の業務効率化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

指標を設定するになじまない性格の経費であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	議員からの依頼に対して的確な文献・資料提供ができる環境を整備し、調査研究の充実に資する。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より多くの議員に利用してもらえるよう、周知を図っていく。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、議員の調査研究に資する議会図書室の機能を充実させていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	